

第5期多摩区区民会議 専門部会の設置と取組テーマ、審議課題について

2014年11月19日(水)

1. 専門部会設置までの経過

■第1回区民会議ミーティング(8月6日開催)

- ・第5期区民会議の進め方について検討
- ・地域課題について(アンケート)



■第1回区民会議(全体会議)(9月3日開催)

- ・正副委員長の選出
- ・各委員が考える地域課題(アンケート内容)の発表



■第2回区民会議ミーティング(9月18日開催)

- ・地域課題アンケート等で出された意見の整理・共有(ワークショップ形式)



■第3回区民会議ミーティング(10月15日開催)

- ・第2回区民会議ミーティングの内容を踏まえ、分野の絞り込み
- ・設置する専門部会の検討
- ・専門部会での検討方法について



■第2回区民会議(全体会議)(11月19日開催)【本日】

- ・専門部会の設置と取組テーマの決定
- ・各委員が所属する専門部会の決定
- ・正副部会長の決定

2. 分野の絞り込みと専門部会の設置について

(1) 各委員が考える地域課題の抽出と分野の整理

- 各委員から出された地域課題に関する意見(アンケート、第2回ミーティングでの意見交換)を踏まえ、区民会議での検討対象の候補とする分野を9つに再整理し、さらに4つに絞り込む案を確認、検討した。

※資料4 「これまでの意見整理の概要(取組分野の絞り込み案)」参照

(2) 専門部会の設置について

- これまでの区民会議の例を踏まえ、審議課題に対してより密度のある調査・審議を行うために、1部会あたり10名程度の委員数とするため、第5期多摩区区民会議では、専門部会を**2部会設置**することとした。
- そこで、再整理した9つの分野および4つの「分野の絞り込み案」(資料4)をたたき台として、以下の視点を参考に、専門部会の候補となる分野の絞り込みを行った。

＜専門部会の設置の視点＞

視 点	内 容
■ 緊急性	・速やかに解決を図らないと区民の生活に支障が生じることが予想できる分野か。
■ 必要性	・区民の関心が高く、区民の多くがその実現を望んでいる分野か。
■ 区民主体もしくは、協働による取組の可能性	・区民が主体的もしくは、区民と行政による協働の取組の可能性はあるか。(区民会議の検討対象としてふさわしいか)

- 委員による検討・意見交換の結果、下表の**2つの分野に絞り込む**こととした。
- 本日の会議までに、各委員が取組を希望する分野を選択(資料1)し、併せて部会名称の提案を募集した。この名称案を踏まえ、**部会名称を検討する。**

分野	人・組織・地域のつながりづくり	区の魅力・まちの活性化
部会名称案	<ul style="list-style-type: none"> つながり部会 つながりづくり部会 コミュニケーション部会 人・町・輪づくり部会 わくわく多摩部会 	<ul style="list-style-type: none"> 多摩区再発見部会 とことん多摩部会 多摩区の魅力・活力づくり創生部会 多摩のまちの活性化部会 地域の自然な絆づくり部会 多摩の輝きまちの活性化部会 区の魅力・まちの活性化部会 魅力部会 いきいき(生き活き)多摩区部会

(3) 所属部会について

- 第4期多摩区区民会議では、各部会での検討状況を委員全員で情報共有する必要性や、区民会議全体として、各部会の審議課題に関わっていく重要性が指摘されたことなどから、以下のような会議運営を行った。
- 第5期区民会議における取組について、検討する必要がある。
 - 所属部会以外の部会の開催日時、会場についても各委員に連絡する。
 - 部会の結果については、確認メモを作成し、ファクス、メール等で全委員に配布する。
 - 所属部会以外にも参加を可能とする。
 - 所属部会以外の部会に参加した場合でも、意見の発言を可能とする。

(4) 企画部会の設置について

- 企画部会については、第4期までの区民会議において、主に全体会の前に開催し、全体会の次第や区民会議ニュースの内容等について検討・調整する役割を担っていた。
- 第5期多摩区区民会議においても、会議の円滑な運営を行うため、**正・副委員長及び正・副部会長で構成する企画部会を設置**することとする。なお、企画部会においても十分な審議・議論を行うため、**正・副委員長は正・副部会長を兼任しないものとし、企画部会の委員数は7名とする。**

3. 専門部会における取組テーマについて

- 第4期区民会議では、各部会が検討する審議課題のテーマとして、下表の「取組テーマ」を定めた。これは、事前のミーティングなどで行ってきた地域課題の把握と整理、意見交換等を踏まえ、各部会の審議課題の方向性を示すものとして、全体会議で確認したものである。

〈参考：第4期多摩区区民会議の専門部会と取組テーマ〉

部会名称	取組テーマ
コミュニティ部会	顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する ※
自然災害部会	いざという時に助け合えるしくみづくり

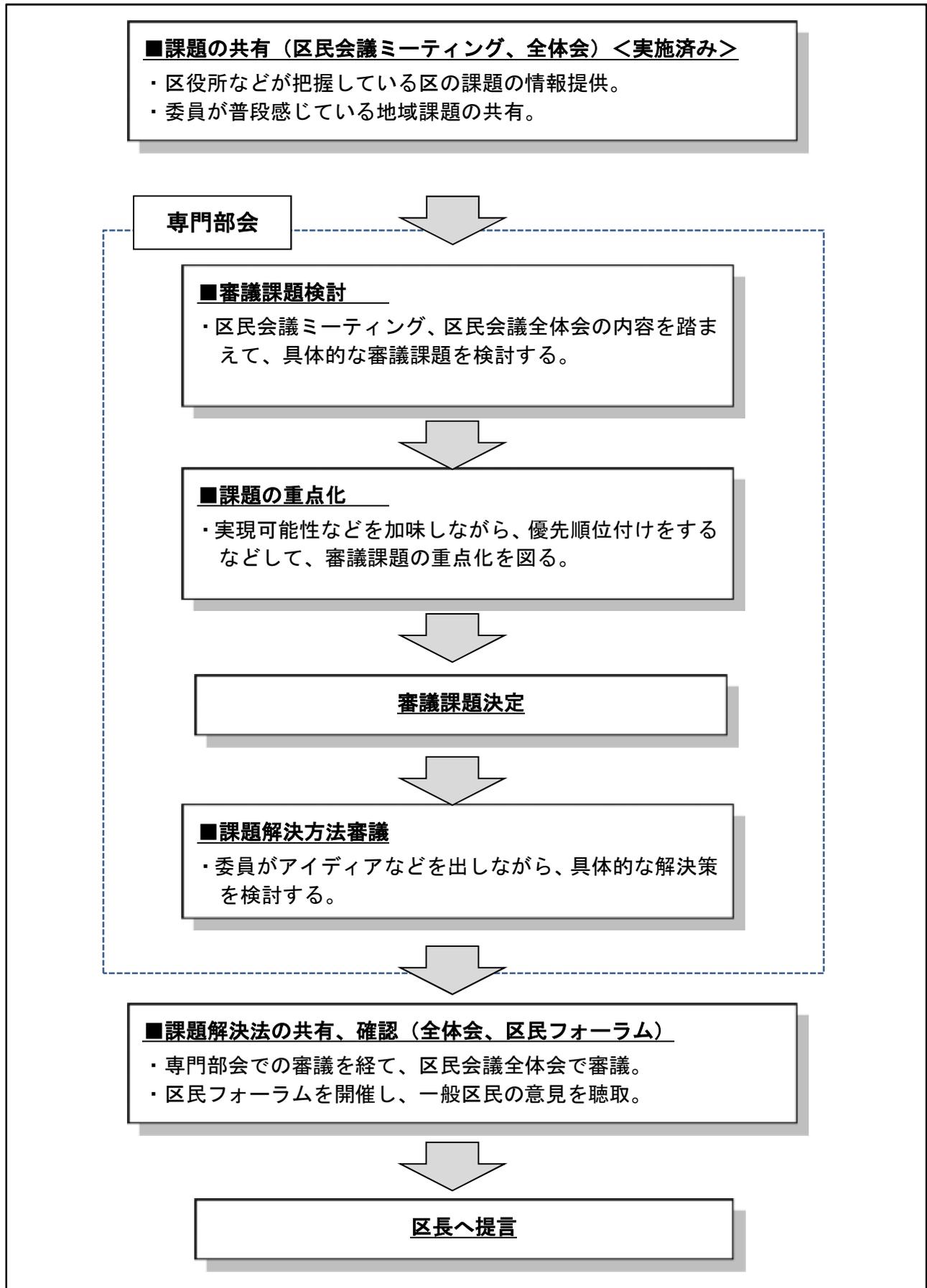
※部会での検討の結果、途中でテーマを改定（当初：人とのつながりを深める方策づくり）

- 第5期区民会議専門部会においても、**部会名称を補足し、各部会の審議課題の方向性を示すものとして、取組テーマを設定**することが考えられる。
- 現段階では、第3回ミーティングまでの検討経過を踏まえ、「分野の絞り込み案」及び「審議課題になりそうなもの」（資料4）から、取組テーマとしては、それぞれ以下の案をたたき台として、「取組テーマ」の設定について検討する。

○第5期多摩区区民会議 専門部会 取組テーマ（たたき台）

部会名称	取組テーマ（たたき台）
	人・組織・地域のつながりづくり
	区の魅力・まちの活性化

4. 専門部会での審議課題の検討の流れについて



<参考>

- これまでの専門部会では、具体的な審議課題を決めるまでに時間を要していた傾向があること、また、審議課題の検討の中で議論が拡散してしまうという課題も見られたことから、次のような方法で検討することも考えられる。
- また、以下の提案では、専門部会での審議に先立って、委員が「企画提案書」を作成することとしているが、部会全体で提案書の各項目について意見交換し、審議課題の検討を進めていくことも考えられる。

<委員による審議課題企画提案書の作成について（案）>

- 委員自身が地域での活動や生活の中から感じている多摩区の課題について、その背景となる状況や、課題の解決策、解決に向けて関わることが想定される団体等を記した審議課題企画提案書を作成し、それを基に専門部会で検討を行う。

- | |
|--|
| ○背景となる多摩区の現状と課題 |
| ○考えられる解決方法 |
| ○一緒に取り組むことが考えられる市民活動団体 |
| ○審議にあたって課題だと思ふこと など |

審議課題企画提案書（例）

※企画提案書の作成は、委員
1名でも、複数名が共同で
行ってもよい。

審議課題企画提案書	
企画名称	
背景となる多摩区の 現状と課題	
考えられる解決方法	
一緒に取組 むことが考え られる市民 活動団体	団体名
	理由
審議していくにあたって の課題だと思ふこと	